（当センター事務局が公表資料をもとに作成）

「2014（平成 26 年度）の温室効果ｶﾞｽ排出量（速報値）について」（要旨）

△ 2014 年度の我が国の温室効果ｶﾞｽ総排出量は 13 億 6,500 万ﾄﾝ（＊CO2 換算）、前年度比で 3.0%減、1990 年度比で 7.5%増となりました。前年度比で減少した要因として、電力消費量減少や電力排出原単位改善に伴い、ｴﾈﾙｷﾞｰ起源 CO2 排出量が減少したことが挙げられます。また、排出量が前年度を下回ったのは、ﾘｰﾏﾝｼｮｯｸによる景気後退の影響を受けた 09 年度以来となります。

＊CO2 換算：各温室効果ｶﾞｽ排出量に各ｶﾞｽの地球温暖化係数を乗じ、合算した値です。地球温暖化係数は各ｶﾞｽの温室効果をもたらす程度について、CO2 の温室効果をもたらす程度に対する比で示した係数です。

△ 温室効果ｶﾞｽ排出量の内訳を見ると、CO2 が 12 億 6,600 万ﾄﾝ、92.7%を占め、特にｴﾈﾙｷﾞｰ起源がｶﾞｽ全体の 87.2%を占めています。また、CO2 排出量を部門別に見ると、1990 年度比で業務その他部門が 98%増、家庭部門が 44%増となったのに対し、産業部門は 15%減となりました。

△ 来年 4 月に確報値が公表される予定です。

以　上